

VI 事業報告

1 総括

大阪府内の学校給食の普及充実発展並びに教育及び文化の振興を図り、もって府民生活の向上及び健康保持増進に貢献するために、府内各市町村、大阪府教育委員会等と連携して諸事業を実施した。

国が掲げる第4次食育推進計画における重点事項を踏まえた食育事業を展開するとともに、市町村のニーズに沿った地場産物を活用した物資の供給に取り組んだ。

2 理事会・評議員会の開催

次のとおり理事会及び評議員会を開催して、事業計画・予算・決算等について審議をおこなった。

(1) 理事会の開催

回数	開催年月日及び場所	決 議 事 項
1	令和7年6月6日 給食会 会議室	(1)「令和6年度事業報告及び財務諸表等の承認」について (2)「理事辞任に伴う補欠候補者の選定」について (3)「定時評議員会の日時及び場所並びに目的」について
2	令和7年6月24日 書面による決議の省略	(1)「理事長（代表理事）選定」について
3	令和8年3月16日 給食会 会議室	(1)「令和8年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込み」について (2)「役員賠償責任保険の加入」について (3)「公益充実資金等取扱規定の制定」について (4)「代表理事辞任による新たな代表理事選定」について

(2) 評議員会の開催

回数	開催年月日及び場所	決 議 事 項
1	令和7年6月24日 給食会 会議室	(1)「令和6年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認」について (2)「理事の退任にともなう補欠候補者の選任」について

3 学校給食支援事業

児童生徒の心身の健全な発達と望ましい食習慣を形成するうえで学校給食の重要性に鑑み、安全・安心で良質な学校給食用物資の安定価格・安定供給に努めるとともに、大阪府学校給食大会をはじめ普及充実及び食育支援事業に取り組んだ。

パン・炊飯指定工場については、義務化された「HACCP(ハサップ)に沿った衛生管理」に必要な衛生管理計画・手順書・点検表作成、更新状況を確認し、指導助言を行った。また、長期休業中に全工場に赴き、従業員向け訪問研修を実施した。各工場責任者に対しても施設保全について外部講師による研修を行った。

地産地消の推進として、たけのこの水煮、みかん缶詰のほか、小松菜などを冷凍コロッケに添加し提供するなど、地場産物を活用した物資の供給に努めた。

学校給食の普及充実・食育推進事業については、児童・生徒を対象としたコンテストや食に関する体験活動等、食育推進を支援する事業に取り組むと共に栄養教諭等のスキルアップを目的とした食育推進支援セミナー並びに ICT 講習会を実施した。

当給食会のホームページもリニューアルし、Web セミナーや動画配信などデジタル化に対応した効果的な情報発信を行った。

今年度は特にコンテスト事業の充実に注力し、新規に小学校1年生から取り組み可能なクイズコンテストの実施やコンテスト優秀作品を広く周知できるように努めた。

また、大阪府教育委員会と共催の大阪府学校給食大会を開催し優良学校並びに学校給食に貢献のあった団体、個人の表彰と講演会を実施した。

(1) 学校給食用物資の供給事業

1) 学校給食用物資供給校及び対象人員(令和7年度牛乳及びパンの需要量申請等より)

区 分	年度	学校数	対象人員
小 学 校	7	963校	431, 975人
	6	969校	440, 260人
中 学 校	7	442校	192, 244人
	6	443校	166, 903人
特別支援学校	7	42校	14, 277人
	6	42校	14, 023人
夜間定時制高等学校	7	1校	25人
	6	1校	35人

合 計	7	1, 448校	638, 521人
	6	1, 455校	621, 221人

2) 学校給食用物資の供給状況

区 分		令和7年度	令和6年度
パ ン		36,204,048 食	37,643,255 食
米 飯		46,669,803 食	43,626,080 食
精 米		5,229,159 kg	4,526,405 kg
牛 乳		73,800,977 本	72,041,865 本
米飯用加工食品(麦・α化米)		62,069 kg	57,540 kg
一般物資	副食(惣菜・加工食品)	358,501,982 円	361,879,027 円
	調味料類	262,573,081 円	236,436,443 円
	デザート類等	74,559,271 円	83,063,772 円
	一般物資合計	695,634,334 円	681,033,514 円

3) 安全衛生及び品質管理に関する事業

① 学校給食用物資の検査

食品の安全確保、良質な物資の供給を図るため、公的検査機関等に委託して各種検査を実施した。検査結果は全検体基準値内、規格内であった。

区 分	検査方法	検体数	検 査 内 容
一般物資	理化学	27	重金属・ヒ素・スズ・ヒスタミン
	微生物	72	一般生菌数・大腸菌群・O157・リステリア他
		47	発育微生物(レトルト・缶詰)
小 麦 粉	理化学	3	残留農薬等(13項目)及びカビ毒
		3	製パン適性度
		35	水分・蛋白・灰分他
米	理化学	8	残留農薬 (共通項目(573)+個別項目(各銘柄の防除暦に基づく使用実績のある農薬))
		199	品位(精米水分・品質・異物・白度) カドミウム・ヒ素・鉛・たんぱく・アミロース
		15	DNA 検査による品種鑑定
地場産米	理化学	3	残留農薬 (共通項目(300)+個別項目(各銘柄の防除暦に基づく使用実績のある農薬))

米 飯	理化学・微生物	15	水分・大腸菌群・黄色ブドウ球菌・セレウス菌
牛 乳	理化学	9	比重・酸度・乳脂肪分・無脂乳固形分
	微生物	9	一般生菌数・大腸菌群
合 計		445	

※委託検査機関 (一財)日本食品分析センター ・(公財)山口県予防保健協会

(一財)日本穀物検定協会 ・(株)BML フード・サイエンス ・(株)日本食品エコロジー研究所

(株)東邦微生物病研究所 ・(株)LSI メディエンス

② 製造工場の指定と巡回調査・指導

施設設備に関する一定水準以上の選定基準等を定めて学校給食パン及び炊飯指定工場等に指定するとともに、衛生管理の徹底を図るため、各工場に立入り巡回調査指導を実施した。

製造工場	選定基準等	工場数	調査・指導延回数
パン指定工場	パン指定工場選定基準	15社	35回
炊飯指定工場	炊飯指定工場選定基準	15社	21回
精米業者	精米業者選定基準	4社	4回
製粉工場	農林水産省指定工場	2社	2回
牛乳供給事業者	事業者認定基準(大阪府制定)	9社	9回

③ 衛生管理講習会

パン・炊飯指定工場を対象に事務連絡会及び安全衛生講習会を開催し、令和7年度の状況および令和6年度実施の巡回調査の総括についての講習会を実施した。

開 催 日	会 場	参 加 者 数
令和7年 4月 4日	大阪府学校給食会会議室	28名
令和7年12月24日	大阪赤十字会館 3F 会議室	53名

4) 品質の確保、向上に関する事業

① 物資運営委員会の開催

市町村・学校の代表者で組織する学校給食用物資運営委員会を開催し、学校給食用物資の選定、価格及び品質・規格について審議し、取扱物資の学校給食への適切な供給に努めた。

ア 学校給食用物資運営委員会

	開 催 日	主 な 内 容
第 1 回	令和7年7月11日	年間行事予定について 第2学期分の取扱物資について 講義:「ごま油の歴史とごま油の魅力について」 かどや製油(株)

第2回	令和7年11月13日	開発選定小委員会における報告 第3学期分の売渡価格等について 基幹物資の価格変動について 講義:「日本酒の歴史と日本酒の魅力について」 白鶴酒造(株)
第3回	令和8年2月6日	開発選定小委員会における報告 新規商品の取り扱いについて 令和8年度1学期分の売渡予定価格等について 令和8年度基幹物資の価格変動について 「物流の現状について」(株)宮田運輸 (株)Jオイルミルズ工場視察の報告 講義:「黒糖の歴史と加工黒糖の魅力について」 上野砂糖(株)

イ 品質小委員会

開催日	主な内容
令和8年1月22日	(株)Jオイルミルズの工場視察
令和8年2月13日	大阪府学校給食献立講習会

ウ 開発選定小委員会

開催日	主な内容
令和7年9月11日	令和7年度の取り組みについて 選定商品の検討及び審議について 選定商品の展示試食
令和8年1月27日	選定商品の検討及び審議について 選定商品の展示試食

② パン品質審査会

開催日	主な内容
令和7年11月14日	全パン工場のパンの品質審査(市町村抜き取り)

※市町村・府教委に審査員として参加いただき、総勢25名で審査を実施。

5) 展示会等の実施

市町村等への学校給食用物資の選択の場として各種展示会を開催するとともに、学校給食用物資についての基礎的な知識の普及を図るため、物資展示会等を実施した。

事業名	実施日	場所	内容	参加者
学校給食展示・試食会	令和7年 7月25日	アウィーナ 大阪	学校給食用物資の展示・試食	347名
精米試食会	令和7年 10月16日	大阪赤十字 会館会議室	新米の試食と選定	57名
学校給食用一般 物資展示・試食会	令和7年 12月25日	アウィーナ 大阪	学校給食用物資の展示・試食	237名

6) 新規取扱物資製造工場調査

既存工場による新規取り扱い物資のみであったため、製造工場調査は実施せず。

(2) 学校給食の普及充実及び食育推進事業

1) セミナー・講演・講習事業

① 食育推進支援セミナー(Web 研修)

当給食会のホームページの食育推進支援セミナー受講者専用ページにてオンデマンド配信で開催した。

A)「児童・生徒の食に関する課題の対処方法について」

- ・感覚特性から捉える児童・生徒の行動と支援
- ・自閉スペクトラム症児を中心とした食に関する支援

コンセプト：学校生活における児童・生徒のさまざまな課題について、作業療法士の視点による評価や指導方法の研修

講師：大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 講師
中岡 和代 氏

受講者数：149名

B)「学校現場でいかに臨床心理学2025」

- ・現代の子どもを理解する(1) SNS 時代のこころ
- ・現代の子どもを理解する(2) 現代の思春期を考える
- ・食育と個別指導

コンセプト：臨床心理士による臨床心理学的視点からの児童・生徒の個別指導と保護者対応における研修

講師：京都大学大学院 教育学研究科 准教授 畑中 千紘 氏

受講者数：101名

C)「エビデンスに基づき人を動かす手法」

- ・なぜナッジで人は動く？
- ・どんな場面でナッジが効果的？

コンセプト：食育推進基本計画で推奨されている行動促進手法「ナッジ」を理解し、実践できるようになるための研修

講 師：青森大学 客員教授 竹林 正樹 氏

受講者数：153名

<配信日>

- ・第1回目 令和7年6月27日(金)～令和7年9月5日(金)
- ・第2回目 令和7年10月10日(金)～令和8年1月9日(金)

② 食育推進支援セミナー(集合開催)

「個別最適な学びを実現する食育実践」

チーム学校で取り組む楽しい食育に繋がる授業について学び、学校における食育を推進するための研修会を集合開催にて実施した。

実 施 日：第1回目 令和7年 7月29日(火)

第2回目 令和7年12月 5日(金)

講 師：武庫川女子大学 教育学部 教授 藤本 勇二 氏

受講者数：78名

③ ICTを活用した食育推進支援セミナー(Web 研修)

第4次食育推進基本計画の重点事項にある「新たな日常」やデジタル化に対応した効果的な情報発信を行い食育の推進に取り組むため、食育推進支援セミナー受講者専用ページにてオンデマンド配信で開催した。

配 信 日：令和7年11月4日(火)～ 令和8年2月27日(金)

講 師：いただきます.info 事務局 三信化工株式会社 海老原 誠治 氏

受講者数：197名

④ 食育講演会

栄養教諭等の食に関する知識の充実のため、「食」に関連した内容をテーマとした講習会を実施した。

日 時：令和7年12月25日(木)15:10～16:40

演 題：『子どもたちの栄養課題解決のための、食事摂取基準の活用』

講 師：国立健康・栄養研究所 研究所長 瀧本 秀美 氏

参加者数：295名

⑤ 大阪府学校給食大会(79回)

大阪府教育委員会との共催で、大阪府内の学校給食関係者を対象にした「食の重要性」をテーマとした講演会及び、学校給食功労者等の表彰式。

日 時： 令和7年7月23日(水) 13:00～16:20 (表彰式・講演)

場 所： 大阪市中心公会堂

表 彰 式： 被表彰者・学校 18名・5校

講 演： 演題『幸せになる方法 ～食を通して～』

講 師： 奈良県立大学客員教授 元春日大社権宮司 岡本 彰夫 氏

参加者数： 349名

⑥ 大阪府学校給食用パン実技講習会

大阪学校給食パン・米飯協同組合と共催で、学校給食関係者を対象にパンに関する知識向上を目的に講習会を実施し、パンの基礎知識や製法についての講義と学校給食用小麦を使用したパンの製パン実習、パンの品質判定方法について2日間にわたり講習を行った。

日 時： 令和7年7月31日(木)・8月1日(金) 10:00～16:30

会 場： 大阪パン会館

講 師： 辻本 博正 氏

受講者数： 21名

⑦ 大阪府学校給食献立講習会

栄養教諭等が献立の多様化など学校給食の充実に活かせるよう、食品知識や料理法に関する講義・実演・調理実習の講習会を開催した。

日 時： 令和8年2月13日(金) 14:00～17:00

会 場： 大阪ガスハグミュージアム

内 容： 「業務用回転釜・立体炊飯器・スチームコンベクションオーブンを
使用した献立」の調理実習

協 力： 服部工業株式会社・三和厨房株式会社

アルファー食品株式会社・ヒガシマル醤油株式会社

受講者数： 18名

⑧ 食育推進講演会

「令和7年度新規採用栄養教諭対象の研修会」

～ひとりで悩まずみんなで学ぼう！心を通わせる食育のヒント～

令和7年度新規採用栄養教諭が、食に関する指導やその他の職務内容を実践するにあたり悩みや疑問等を共有し、先輩栄養教諭からの助言や相談ができるような場を設定することで、食育指導の充実を図ることを目的として実施した。

日 時： 令和8年3月25日(水) 13:30～17:00

会 場： 大阪赤十字会館会議室

講 師：子育て支援アドバイザー 上原 優子 氏
大阪府教育庁 教育振興室保健体育課 指導主事 福西 公平 氏
対 象：大阪府内の令和7年度新規採用の栄養教諭(19名)
大阪府学校栄養士協議会 会員
参加者数：54名

2) コンテスト事業

① クイズコンテスト

小学校・義務教育学校・支援学校1～6年生を対象に食べ物に関するクイズを募集し、コンテストを実施した。

テ ー マ：食べ物クイズを考えて「食べ物クイズ博士で賞」をゲットしよう！

応募作品数：3,409作品

② おおさか学校給食献立コンテスト

小学校・義務教育学校・支援学校小学部の5年生・6年生を対象に学校給食の献立を募集し、コンテストを実施した。

テ ー マ：こんな給食食べたいなあ！

「おいしく楽しく野菜を食べよう！」

応募献立数：2,081作品(応募人数 2,554名、応募校数 80校)

③ フォトコンテスト

中学校及び支援学校中学部を対象に朝食の写真を募集し、コンテストを実施した。

テ ー マ：こんな朝食食べたいなあ！

「わたしの幸せ朝ごはん♪」

応募献立数：4,208作品(応募人数 4,208名、応募校数 48校)

3) 展示会事業

「学校給食展示・試食会」での出展

大阪学校給食パン・米飯協同組合との共催で学校給食用物資各種の展示試食を行う
会場で、食育・安全に関する貸出指導教材・各コンテスト入賞作品の展示を行った。

4) 体験活動事業

出前パン作り教室

大阪学校給食パン・米飯協同組合と共催で、大阪府内の児童・生徒を対象に、学校給食パンの製造から試食に至るまでの出前教室を実施することにより、食に対する関心と意識を高め、製造等にかかわる人々の努力や食への感謝の念を育む心を養うための講習会を実施した。

日 時：令和7年6月～令和8年2月

実施回数：14箇所

講 師：藤井 憲一 氏・辻本 博正 氏

参加者数：432名

5) その他の学校給食普及充実及び食育推進事業

① 食育推進助成事業

大阪府内の食育を支援するための食育活動費の助成。

*事業見直し予定のため中止した。

② 食育教材等貸出事業

市町村教育委員会・学校及び栄養教諭等学校給食関係者に対し、「食育」や「学校給食の普及充実」に関係する書籍・DVD・紙芝居・フードモデルなどの各種教材、「衛生管理」に役立つ教材や簡易検査器具を無償で貸与した。

貸出件数：233件

③ 「バケツ稲づくり」もみ種の配布

児童・生徒の米作り体験を支援することを目的に、令和6年度産学校給食専用銘柄米のもみ種を申込があった学校へ配布した。

各学校より、北海道産の「ゆめぴりか、ななつぼし」、青森県産の「まっしぐら」、滋賀県産の「キヌヒカリ」、香川県産の「ヒノヒカリ」、鳥取県産の「きぬむすめ」の6銘柄の中から選んだもみ種を栽培した栽培報告書が提出された。

配布数：97校 7,443名

6) 広報・普及啓発事業

① 季刊誌「おおさかの学校給食だより」の発行

市町村教育委員会・学校に対し、季刊誌を年4回配布した。

発行部数：8,800部

② 「ホームページ」の運営

ホームページの一般向けページでは、「食育」や「学校給食に関する情報」を紹介するとともに、学校給食関係者の専用ページでは当給食会が取り扱う学校給食用物資の紹介並びに安全衛生や品質面での分析検査結果などを掲載した。

また、献立講習会において実施した調理風景を撮影し編集したもの、献立コンテスト最優秀賞受賞献立の調理動画を動画共有サイト「YouTube」の大阪府学校給食会公式チャンネルにおいて配信を行い、食育情報を発信した。

7) 法人の運営体制の充実を図るための取組について

① 外部理事及び監事の選任方法

公益財団法人としての公益性及び透明性を確保するため外部理事及び監事を選任

している。外部理事については、学校給食有識者及び府内教育関係者より複数人選任している。

監事については、会計実務有識者及び学校給食有識者より選任している。

② 外部理事及び監事への情報提供

理事会において選定された業務執行理事のリーダーシップのもと、理事会の有効的な運営を行うことにより必要事項の情報共有をするとともに事業推進に努めている。

事業の執行については、理事同士が執行の監督を行っている。

監事は理事会及び重要な会議に出席し、情報共有を行っている。また、業務執行理事とのコミュニケーションを行い、情報提供を十分に行っている。

③ 評議員の選任方法

公益財団法人としての公益性及び透明性を確保するため、評議員の選任については外部理事と同様の基準を定款に定めている。外部評議員については、学校関係者、児童生徒の保護者代表、学校給食有識者より複数人選任している。

④ 業務及び内部管理の整備・運用

・職員の職務執行体制

職務分掌及び決裁権限を規程により明確化し、組織的かつ効率的な事務執行体制を整備している。

・内部統制システムを維持・充実させるための内部規程の整備・運用

事務局の組織や職制等について、その事務取扱の基準を定め、事務の適正な運営を継続的に行っている

・安全な資金運用の取組

安全性を最優先とした資金運用管理規定および資金運用管理方針を定め、適切な管理を実施している。

⑤ 給食用物資の安全・安心・安定供給の取り組み

・給食用物資の安全衛生及び品質管理の取組

安全衛生の担当係を設置し、指定工場へは HACCP(ハサップ)による衛生管理に関する指導を行っている。また、食品衛生に関する情報収集を積極的に行い、取扱物資の品質管理の徹底に努めている。

・給食用物資の安定供給のための取組

主食(パン、米飯)の供給において、製造工場を給食会独自基準による指定工場制度を採用している。

この指定工場の協力により一部の工場が供給困難となった場合には、他の指定工場による補完体制を構築している。主食の米については学校給食専用銘柄米制度を導入し生産地の協力を得て安定供給に努めている。

- ・給食用物資に関するリスク管理

給食用物資に関して危機管理事象が発生した場合、又はそのおそれのある場合に、適切に行動し、危機管理事象による被害等の拡大防止と再発防止を図るための対策について「危機管理事象対応要綱」「危機管理事象対応マニュアル」を策定し運用している。また、危機管理対策会議を定期的に行き開催しリスク管理を行っている。

⑥ 外部専門家からの指導・助言体制

- ・公益法人制度及び会計処理の遵守

公益法人制度及び会計処理については、公認会計士、税理士等の外部専門家から継続的に指導・助言を受ける体制を整備している。

- ・法的トラブル防止・事後対応

法的トラブルの未然防止及び発生時の適切な対応を図るため、弁護士等の外部専門家と連携し、必要な指導・助言を受ける体制を確保している。

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。